

第2学年「のぞいてみると」(造形遊び)

(1)題材名「のぞいてみると」 (造形遊び：第2学年・5時間)

(2)題材の目標

- のぞいて見える世界に関心をもち、いろいろな方法を試しながら、思い付くままに進める造形活動の楽しさを味わう。(ア 造形への関心・意欲・態度)
- 感じたことや想像したことなどから思いをふくらませ、のぞいて楽しくなるような表し方を考える。(イ 発想や構想の能力)
- 表したいことに合わせて、身近な材料や扱いやすい用具を使い、自分なりの表し方を見つける。(ウ 創造的な技能)
- のぞいて見える世界の形や色、表し方の面白さなどに関心をもち、楽しく見ようとす。(エ 鑑賞の能力)

(3)材設定の理由

- 本学級の児童は、… 略 …
また、お互いの作品を見合ったり、思いを伝え合ったりする鑑賞の場を適宜設けてきた。アンケートでもほぼ全員の児童が友だちのつくったものをもとても見てみたいと答えており、見ることへの関心の高さがうかがえた。鑑賞の時間を積み重ねるごとに、色や形、材料など様々な観点を通して作品を見ようとしたり、友だちの思いや工夫に共感しながら作品を見たりすることができる児童が増えてきた。さらに、活動の途中で鑑賞を入れることで、友だちの活動からヒントをもらい自分の想を広げたり、自分の活動を振り返り次にやりたいことを見つけたりする姿も見られるようになってきた。鑑賞を通して、最後まで意欲的に活動する児童や友だちに認めてもらうことで自分の表現に自信をもち始めた児童が増えてきている。
- 昨年度から本校では、鑑賞の時間を大切に、授業に取り組んできた。児童は、授業終了時のみならず見合う鑑賞だけではなく、表現活動中にも自分の周囲の友だちと話したり活動を見たりする中で、自分のイメージをふくらませたり表現に取り入れたりしている。低学年における鑑賞はその比重が特に大きいと考える。
今回は、「のぞいてみる」という行為を中心とした造形遊びを設定することで、児童がより興味関心をもって鑑賞することができるのではないかと考えた。のぞいて美しく見えたり、面白く見えたりするものを探してつくり出す活動は、身の回りのいろいろな材料を意識して見直すよい機会になり、それを組み合わせて自分なりの美しさや面白さを生み出すことで、児童の材料経験を豊かにし、造形能力を育むことができる。そして、その作品をみんなでのぞき合うことで鑑賞の楽しさを感じ、造形への自信や意欲をもってくれることを願い、本題材を設定した。
- 指導にあたっては、児童が楽しく活動し、楽しく鑑賞する中で、題材を通して、特に「見る」ことを大切にしながら活動を展開していきたい。
本時は、前時に自分の思いを広げてつくった作品をみんなで鑑賞しあう活動からスタートする。活動途中で鑑賞の場を設けることで、作品の面白さや友だちのアイデアのよさに気付き、自分の活動に取り入れたり、更なる意欲につながりたい。
まず、展示コーナー「のぞいてわくわくコーナー」を用意し、学級を二つのグループにわけ、交互に見る人と見せる人に分かれてワークショップ方式で鑑賞を行う。見る方は感想を伝えたり、やり方を教えてもらったりと友だちとその作品を結びつけながら作品を見ることができよう。また見せる方も、友だちの反応を目の前で見ることで、自分の作品のよさを感じ、次への意欲につながっていくのではと

考える。その際、児童が友だちの作品を大切に手に取り、友だちと楽しみながら感じたことを自由に伝え合える場となるよう配慮したい。そして、意欲的に活動している児童や作品の面白さを見つけている児童には、それを認める声かけをし、さらに意欲を高めていく。また、それを全体に広げるような声かけもしていく。のぞいてみる活動に興味を示さない児童には、教師と一緒に活動し作品の面白さなど見る視点を知らせたり、児童同士でかかわらせたりしながら関心をもたせるよう支援していきたい。

また、児童のつぶやきや、発表などからでてきた作品のよさをみつけた言葉をホワイトボードに書き、鑑賞の最後に全員で見合う。そうすることで、鑑賞から生まれた思いを全員で共有し、これからの活動に生かしていけるようにしたい。

本時の後半は、「つくってわくわくコーナー」で、さらにつくり、つくりつづけていく活動を行う。鑑賞から生まれた「自分もやってみたいな。」「次はこうしたいな。」「よし、がんばるぞ。」という思いをもって活動していく姿を期待したい。

(4) 評価計画

① 題材の評価規準と単位時間における具体的な評価規準

	ア 造形への 関心・意欲・ 態度	イ 発想や構想 の能力	ウ 創造的な 技能	エ 鑑賞の能力
題材の評 価規準	のぞいて見える世界に関心を持ち、いろいろな方法を試しながら、自分の表し方で作りだすことを楽しんでいる。	感じたことや想像したことなどから思いをふくらませ、好きな色や形、使いたい材料などを選び、のぞいて楽しくなるような表し方を考える。	身近な材料や扱いやすい用具を使い、のぞいて楽しくなるように工夫してつくる。	のぞいて見える世界の形や色、表し方の面白さなどに関心を持ち、楽しく見ている。
単位時間 における 具体的な 評価規準	① 様々な筒や箱などをのぞいてみる活動を通して、いろいろな見え方を楽しんでいる。	① 材料の形や色などの美しさや面白さ、不思議な感じなどの特徴から、使うところやさらにしたいことなどを考える。	① 材料や用具を選んだり、試したりしながら、のぞいて楽しくなるように工夫してつくる。	① 自分たちの作品をのぞいて見る活動を通して、見える世界の形や色、表し方の面白さなどに関心をもつ。 ② 自分たちの作品を見合い、感じたことなどを伝え合う。

② 評価について

評価表を使った教師による観察を基本とする。児童のつぶやき、行動を観察し、記録していく。また、振り返りカードを使った評価も取り入れていきたい。

・予想される児童の思い

のぞいて遊ぼう。(1)

○様々な筒や箱などをのぞいてみる活動を通して、いろいろな見え方を楽しむ。

(ア①)

- 児童の興味がわくような提示や、事前に多くの種類の材料集めしておく。
- のぞいた時に見える世界に注目するよう伝える。

- ・風景がまるく見えるよ。
- ・四角いのは窓みたいだよ。
- ・長いと小さく見えるよ。
- ・短いと大きく見えるよ。
- ・つなげると長くなって面白いよ。
- ・二人で見ると面白いよ。

鑑賞

鑑賞からうまれる思い

- ・中に何か入れてみたい
- ・色をつけてみたい
- ・模様をつけたい
- ・もっと長くしたい
- ・～をつくりたい
- ・○○を準備しよう

つくろう!

のぞいて楽しいものをつくろう。(3 本時2/3)

○自分の思いを広げながら、のぞくと楽しいものをつくる。(イ①、エ①、ウ①)

- 思いつくまま自由に活動していくよう伝える。
- 児童の思いから生まれた発想を認める声かけをする。
- つくり、つくりかえ、様々な方法を試みながら、自分の表し方を見つけていくよう伝える。
- なかなか活動が進まない児童には、一緒に活動したり、友だちの様子を紹介したりする。

- ・キラキラするものを入れよう。
- ・折り紙を切って入れてみよう。
- ・～の形にしたいな。
- ・セロハンを貼ってみよう。
- ・だんだんすてきになってきたよ。

鑑賞

鑑賞からうまれる思い

- ・～さんのがきれいだな
- ・～くんのが面白いよ
- ・ぼくもつなげてみようかな
- ・～さんに教えてもらいたい

つくりかえよう!
つくり続けよう!

- ・2つくっつけよう。
- ・○○を入れてみよう。
- ・外側も飾ってみよう。
- ・ようし、ぼくもがんばって楽しくするぞ。

のぞいてみよう、すてきな世界。(1)

○できた作品をみんなで見合い、作品を通して見える世界の美しさ、面白さ、不思議さや、作品づくりの工夫を感じ合う。

(エ②)

- のぞいてわくわくランドをつくり、材料ごとにコーナーをわけて鑑賞することで、いろいろな表現方法を感じられるようにする。

- ・～さんのがきれいだね。
- ・色が重なるときれいだね。
- ・光があたるとキラキラしてすごくきれいだよ。
- ・両方から見ると面白いよ。
- ・2つ重ねたら、さっきと全然違って見えるよ。
- ・友だちのとつなげても面白いよ。

鑑賞

鑑賞からうまれる思い

- ・いろいろな作品があってどれもすてきだったよ
- ・いつもの風景と違って見えたよ
- ・他のクラスの人にも見てほしいな
- ・いろいろなことができて楽しかったよ
- ・つくってよかったな
- ・またやりたいな

つくり
つづけよう!

(4) 本時の具体的な評価

	鑑賞の能力
十分満足できると判断される 児童の具体例	・ のぞいてみる活動に進んで取り組むとともに、そのよさや面白さに気付いたり、気付いたことを自分の活動に生かしたりする。
おおむね満足できると判断される 児童の具体例	・ のぞいてみる活動を通して、見える世界の形や色、表し方の面白さなどに関心をもつ。
努力を要すると判断される 児童の具体例と支援	・ のぞいてみる活動に興味を示さない児童には、教師と一緒に活動し作品の面白さなど見る視点を知らせたり、児童同士でかかわらせたりしながら関心をもたせる。